

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
演劇	劇団さんぽ	○所在地 〒811-2112 糟屋郡須恵町大字 植木184-22 ○代表者 秋吉 雅子 ○ホームページ http://www.gekidansanpo.com ○E-mail info@gekidansanpo.com ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数2人	表現活動 『違いを受け入れ、自己を表現するコミュニケーションワークショップ』	【プログラム1】 しりとり、連想ゲーム、シーン作りなど簡単なゲームを通して、参加者同士の受け止め方の違いや考え方の違いを発見する。また、他者のアイデアを受け入れ自身のアイデアを加えて表現することで、予想しなかったストーリーに発展し、一緒に展開を楽しむ。 【プログラム2】 『教科書や絵本のお話を使って物語を表現しよう』 参加者の良く知っている話を使用し、登場人物の感情や物語の情景を考えて表現することで物語の理解を深める。物語を『正しく演じる』のではなく、その時に思ったこと、言いたくなった事を自分自身で素直に受け止め、表現する勇氣を持って仲間とともに劇創りを経験する。	2～3人	○体育館や多目的ルームなど広い会場 ○動きやすい服装 ○事前に担当の先生と打ち合わせをして、クラスの状況や特徴を尋ねます。 ※講座適正人数 15～40人程度 ※対象年齢 特になし（学年毎が望ましい）	・2013年設立 代表 秋吉雅子 ・幼稚園・保育園、小学校への演劇公演活動。 子ども達だけでなく、保育園や小学校の先生方などに対してもコミュニケーションワークショップを実施。 ・九州はもとより、全国で公演を行っている。
	結実企画（むすびきかく）	○所在地 〒820-0001 飯塚市鯉田1778 ○代表者 吉柳 佳代子 ○ホームページ 無 ○E-mail k.kiryu@gmail.com ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数2人	「表現活動」 ～演劇の世界で鍛えるコミュニケーション力。知らない自分が見えてくる～	【プログラム1】 演劇で教科の学びを深めよう。 国語：物語や詩、曲などを実際に演じ、登場人物の感情や物語の背景を深く考え、実感として学ぶ。 社会：身の周りのことや、歴史、世界の問題を演劇の世界で解決しよう。 総合：（社会も）調べ学習を演劇にして発表してみる。 演劇を使って躍動的な発表会を演出してみよう。 【プログラム2】 『対話的な活動で仲間と自分のステキを発見！』 アブライドインプロの手法を使ってコミュニケーション力を高めよう。 即興的なやり取りを中心に言葉と身体を使い、対話することを通じてコミュニケーション力を鍛えます。 クラス作りや関係作り他者理解、自分や友達の違いを認め合って楽しく関係を構築。個人の活動からペアグループ発表へと段階的に進んでいきます。	2人		・平成17年（2005年）設立、 代表 吉柳 佳代子（きりゅう かよこ） ・故劇団C4の代表大福 悟（だいふく さとる）を中心に集まった俳優、演出、脚本家による演劇人のチーム。 演劇指導や表現教育、アートワークショップを行う。 大福の意思を継ぎ現在、幼児から認知症の高齢者に向けた演劇活動を展開している。
	プレイ集団・YOU遊	○所在地 〒830-0415 三瀬郡大木町絵下古賀283 エスポワール102 ○代表者 加賀田 美沙子 ○E-mail engekihiroba0430@gmail.com ※特別支援学校（要相談） ※児童養護施設（可） 派遣者数2人	①表現・コミュニケーションプログラム 【学校・学年・クラスの状況・希望によって作るオーダーメイドプログラム】 ②演劇プログラム 【発表会や文化祭などでの演劇上演を目的とした際のプログラム】 ③ダンス体験プログラム	①遊びや演劇の手法を用いた活動体験。子どもたち自身の言葉や身体を使って、集中力・想像力・判断力・コミュニケーション力etc.を育むワーク。自己発見のためには他者を発見することが大切であり、自身とのコミュニケーションは、他者ありきで初めて発見できる。「共存して生きる力」こそが「自らの生きる力」に結びつくことに気づいていくプログラム。 ②役を演じることの体験を通して、自分ではない自分を演じる面白さを知り、日常の生活空間も演劇や表現する世界に満ち溢れていることを知る。また、表現力向上のための具体的な演技指導、演出等へのアプローチも行う。 ③音楽やリズムに乗って身体を動かすことを楽しみ、もっと自由に身体を使えるようになるためのプログラム。発表会・運動会用の振り付けも対応する。	2人	※対象年齢 小学3年～中学生 ※講座適正人数 15～30人程度 ・参加者が動き回れるスペース	○加賀田美沙子 演劇、ダンス、歌、パントマイムなどの演者としてステージに立つほか、2008年より筑後市の公立文化施設サザンクス筑後主催の表現教育講座「こどものためのえんげきひろば」講師を勤め、2011年からは「表現・コミュニケーション能力の向上」を目的とした演劇やダンスのワークショップを各地で精力的に行っている。 ○久保田りき 筑後市にある公立文化施設「サザンクス筑後」を中心に、年間4～5本の演劇やミュージカルの脚本・制作に取り組む。また演劇ワークショップの講師としても活動している。

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
演劇	大体 2mm (だいたい にみり)	○所在地 〒800-0254 北九州市小倉南区葛原元町 2丁目3-29 ○担当者 飯野 智子 ○ホームページ ○E-mail mero-npa-nthi122@docomo. ne.jp ※特別支援学校（要相談） ※児童養護施設（可） 派遣者数2人	「演劇を使って遊ぼう」 「オリジナルの劇を作ろう」	舞台装置や道具を使わずに、自己表現することに重点をおく。 演劇の手法でゲームや遊びを通して、表現することの楽しさや友達と一緒に活動する喜びを分かち合います。 また、日常生活の中で感じたことや見た物を演劇にしてみたり、「環境」をテーマに子ども達が自発的に環境について考え、演劇を通して学んでいく。	2人	・実施場所：全員が自由に動き回れるスペース ・実施に関しては、事前に打ち合わせをいたします ※講座適正人数 少人数～30人 ※対象年齢 幼児～中学生	○飯野智子（俳優・演出） 2013年 劇団大体2mm結成 今まで子どもから高齢者まで、幅広くワークショップを実施してきました。その時、その場所でも言葉や行動を演劇にしたり、思い出しを演劇にしたり、初めて演劇をする人でも楽しく参加出来ます。 また、コミュニケーションや表現力など演劇を通して学ぶことができます。 ・中学校、演劇部外部講師 ・保育士資格有り ・2003年～表現教育指導者講習を受けワークショップを始める。 ・福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 講師
音楽	SION	○所在地 〒807-0862 北九州市八幡西区西折尾 1-11 ○代表者 江口紀子 ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数3人	マリンバ（打楽器）、サクソフォン（木管楽器）、ピアノ（鍵盤楽器）という種類の違う3つの楽器がどのようにして一つの響きを構成し曲を演奏しているか、また実際にリサイクル打楽器を作成し仲間や演奏家とのアンサンブルを体験することにより、コミュニケーション力の低下を危惧されている子どもたちが「自分」とは違う「他人」に歩み寄り気持ちを育て、絆を深めようとするきっかけとすることが出来るもの。 ①3つの楽器の紹介 ②3つの楽器によるアンサンブル実演 ③学校にある楽器を知り体験する。	♪剣の舞（ハチャトゥリアン作曲）、カルメン（ビゼー作曲）、きらきら星変奏曲（モーツァルト作曲）等クラシックの名曲。季節を感じる曲（例 春の小川 クリスマス曲）や語り継ぎたい日本の童謡・唱歌 等の鑑賞。 ♪曲当てクイズ 白鳥、熊蜂の飛行、踊る子猫、道化師のギャロップ等、タイトルを言わずに短めに演奏し、想像してもらおう。（ホワイトボードに正解の絵を貼るのでヒント有り。低学年さんにも想像しやすい。） *間違っても、おかしくも恥ずかしくもないことをお話した上で演奏します。クイズにする理由は、普通に鑑賞するよりも積極的に聴いてくれる子が増えて欲しいという願いです。 ♪学校にある楽器の体験（打楽器系） たくさんの楽器があるが、眠っている楽器が多いのが現実。実際に学校にある楽器の演奏の仕方を一通り講師がデモンストレーションした後、みんなに割り振る。最後は合奏。 *楽器の使い方を知れば、今後も練習できるし、楽器や音楽がもっと身近なものになる。 ♪サクソホーンの体験 3名に音を出してもらおう。	3人	学校にある楽器の準備 例) カスタネット（ゴムが伸びている場合は取り替えていただきます） トライアングル 鈴 太太鼓 小太鼓 等 ※講座適正人数 約30人 ※対象年齢 小学生～中学生	○2004年、ふるさと北九州市のシンボル 紫川河畔での野外クラシックコンサート「リバーサイドコンサート」実現のために結成。2005年10月「第1回リバーサイドコンサートin紫川」を実現。「NPO法人北九州リバーサイドミュージックBOX」のメインアーティストとして「リバーサイドコンサート」（全8回）を中心的に支えてきた。音楽家を含む市民・行政・地元企業の3者間の協働による活動は、多くの市民はもとより行政や地元企業からも認められ、数々のメディアにも取り上げられている。 ○木がもつあたたかな響きの「マリンバ」、ジャンルにとらわれない多彩な音色が魅力の「サクソフォン」、ダイナミックでアンサンブルをつつみこむような「ピアノ」、この3つの調へによるユニークなアンサンブルが特徴。 ○響ホール音楽アウトリーチ事業登録アーティストとして小学校や市民センターへの訪問コンサート実施の実績をもとに、小学校や市民センターの他に保育園、病院、図書館、美術館などを会場に気軽に親しみやすく、分かりやすいクラシックコンサートを展開中。

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
音	ふれあいコンサート 実行委員会	○所在地 〒802-0061 北九州市小倉北区三郎丸 3-11-29 ○代表者 山崎真理子 ○ホームページ ○E-mail amica8004-mari@jcom.home. ne.jp ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（要日程 調整） 派遣者数3～4人	「聴いたり演奏体験した り音楽は楽しいね」 生の演奏を聴くだけでな く、実際に楽器を吹いて 体験することにより、音 が出た時の喜びを知り、 お案が区への興味・関心 を高める。 ホルンと他の楽器とのア ンサンブルで、音楽の楽 しみを知る。 +D88+E88+D72	講堂（体育館） 生の音楽を間近で体験でき、ミニオーケストラで様々な 楽器の名前、音色、特徴なども学ぶことができる。歌い 手による歌唱指導、またボディパーカッション等、聴衆 参加型の演目も取り入れ、演奏者と一緒に音楽を 楽しむことができる。 ○ミニオーケストラ演奏（例：カルメンメドレー、ボレ ロ、ラデツキー行進曲 ほか）（ヴァイオリン・ピオ ラ・チェロ・フルート・クラリネット・ファゴット・ 打楽器・ピアノ） ○楽器紹介 ○歌唱指導 みんなでうたおう（校歌ほか） ○ボディパーカッション体験 ○楽器体験（弦楽器・木管楽器・打楽器入門編）	10人 程度	※適正人数 200人程度 ※対象年齢 小学生	○北九州音楽協会発足当初より自主運営 にて実施してきた学校訪問型コンサ ート（7トリ）の努力と成果が認められ 、平成4年より北九州市教育委員会文化 部より出演依頼を受ける。以来、現在に 至るまで特別支援学校における「ふれ あいコンサート」を継続して行うほか、市内 小学校や保育園への「訪問コンサート」、遠 隔地への「出前コンサート」と活動の場を広 げる。 ○平成21年「ふれあいコンサート実行委 員会」を立ち上げる。 ○平成23年より北九州市及び北九州芸術文 化振興財団より「訪問コンサート」をプロデュ ースするコーディネート業務を委託される ○ふれあいコンサート実行委員会」で実施する 訪問コンサートは対象となる方々の年齢、場 所（小さな教室から大きなホールや体育館 まで）等ニーズに合わせ、多種多様な プログラムを組めることが最大の魅力であ り、また、聴衆と演奏家がふれあうほど 近い距離で実施されることも、好評を得 ている。
	福岡ホルンアン サンブル	○所在地 〒811-2122 糟屋郡宇美町1-6-3 西日本音楽学院 音楽教室 内 電話092-410-7666 ○代表者 木谷慶一 （福岡ホルンアンサンブル 事務局） ○ホームページ ○E-mail gakuin@nishigaku.co.jp ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数4～5人	「聴いたり演奏体験した り音楽は楽しいね」 生の演奏を聴くだけでな く、実際に楽器を吹いて 体験することにより、音 が出た時の喜びを知り、 音楽への興味・関心を高 める。 ホルンと他の楽器とのア ンサンブルで、音楽の楽 しみを知る。	・開会のファンファーレ ・ウエルナーの「野ばら」 ・ウエーバーの「狩りの音楽」・少年時代・八木節 ・天空の城ラピュタより「君をのせて」 ・トランペット吹きの休日・日本の四季より ・アフリカンシンフォニー・BING BANG BANG BORN ・校歌 ○現在のホルンと昔のホルンや様々な楽器を展示し、楽器の 特徴とその歴史の違いを知る。 ○鍵盤ハーモニカやクラリネット、ドラム、リコーダー等の 組み合わせにより多彩な音色の違いを学ぶ。 ○珍しいスイスのアルプホルンを鑑賞し、実際に吹いて体験 する。	4～6人 （ホルン 4人） （伴奏 1人 ドラム1 人）	・楽器展示用に長机3個 椅 子6個 ・校歌をアレンジして最後に 全員で歌うので、事前に校歌 の楽譜を頂きたい。 ・対象は小学生から中学生ま で可能。演奏曲の要望があれ ば可能な限り応じることがで きる。	・平成5年設立、元中村学園大学教授三 好隆三先生を会長として、東京交響楽 団や、日本フィルハーモニーで活躍し たホルン奏者をはじめ、国内外の音楽 大学でホルンを専攻したメンバーで構 成。 ○九州一円からホルン奏者を集めてホル ンフェスティバルや、N響の奏者を招 いたり、学校の文化祭で招待演奏など、 ユニークな活動を行っています。 ○現在メンバーは演奏以外に、大学での 教鞭や県内各地の吹奏楽、管弦楽の指 導やコンクールの審査員等多彩な活動 を行っています。
楽							

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
音	ジェイエムシー	○所在地 〒816-0923 大野城市雑餉隈5-4-21 ○代表者 大畑恵三 ○ホームページ https://www.jmcmusic2001.jp.com/ ○E-mail jmc@jmcmusic2001.jp.com ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数2人	ピアノ三重奏と独奏により「西洋音楽の心」に触れる音楽鑑賞会。 大作曲家の名曲、国や時代によって異なる音楽の特色やスタイルの特徴など、室内楽を通じて西洋文化の心に触れる 「歌うことの全て」を学ぶ ～高音の発声技法、イメージを歌にする仕組みを学び、体験する～	「室内楽でたどる西洋音楽の足跡」 ＜日本の四季＞ 季節感あふれる日本の心、文部省唱歌メドレー ＜大作曲家の音楽＞ バッハ・モーツァルト・ベートーベン・ブラームス・ショパンなど大作曲家の音楽を、独奏や室内楽で鑑賞する ＜民族や国の音楽の特色＞ ドイツ・フランス・スペイン・イタリア・ジプシーなど、国や民族による特色を音楽を通じて学ぶ 「身体と発声の仕組み」 (1) 「歌う」とは (2) 息の支えと身体との共鳴 (3) 正確な＜音程＞を歌う技法 (4) 発声練習（中低音域・高音域・更に高い音域） 「イメージ・表情・想いを表現する仕組み」 (5) イメージする力を育もう (6) 言葉を語る (7) 言葉を語り、想いを歌う (8) 課題曲「もみじ」を歌う	4人 2人	○小4年以上1クラス30～50人程度が理想 ○服装は、体操服で ○「もみじ」の歌詞を半紙に書いて準備 ※生徒が「もみじ」を知らない場合、練習しておいて欲しい	・平成元年設立、代表 大畑恵三 ・クラシック音楽普及のため、音楽普及プログラムの研究開発、実践活動を行う。 ・学校コンサート、子ども夢基金助成事業、アンビシャスコンサートなどを実施。 ・文化庁「文化芸術による子供の育成事業」講師として、九州・山口において巡回演奏を実施。
	九州打楽器合奏団	○所在地 〒819-0002 福岡市西区姪浜5-22-28-501 ○代表者 花岡金光 ○ホームページ ○E-mail hanaoka-ongkud0@aqr.bbq.jp ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数3～4人	「マリンバ演奏」 「打楽器演奏」 体験講座 ～打楽器を通して、打楽器そのもの・演奏の楽しさを体験する～	①いろいろな打楽器の紹介・演奏 ②実際に楽器に触れ、演奏方法のレクチャー ③クラシックやラテンなど、親しみのある音楽に打楽器をもって参加し、体験することによって、楽器への理解を深め音楽に親しむ。	3～4人	○長机2台、マイク1本 ○日常の音楽の授業時にもつなげていただきたいので、音楽室の楽器類も使用したい。（木琴、鉄琴など）	・平成3年設立、代表 花岡金光 ・福岡県を中心に九州各県の学校や地域でコンサートを実施 ・特に、スクールコンサートでは、マリンバやあらゆる打楽器を使い、参加型のプログラムを企画し、子ども達に楽しい音楽を提供。

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
音	ミュージック コンサート （広沢薫：ピアノ 松竹玲奈：ソプラノ 関原弘二：チェロ）	○所在地 〒818-0057 筑紫野市二日市南2-11-6 ○代表者 広沢 薫 ○E-mail profumo421@yahoo.co.jp ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（土曜は要相談） 派遣者数3人	音楽って楽しい！ 音楽家が奏でる生の音楽を耳と目と体で感じます。 音楽の知識を楽しく、かみくだいて教えます。	1限 ①自己紹介をかねて演奏 ② A. 歌バージョン体験 ・声を出すための体の動かし方 ・美しい声を作る ・曲を歌い、作りあげる B. リコーダーバージョン体験 ・ピッチの合わせ方 ・タンギング ・曲の演奏、美しい音の出し方を学ぶ * AかBどちらかの選択も可能 * 楽器→チェロ（子どもサイズ）体験可能（若干名） 2限 ①1限の曲を生徒が発表 ②うたとチェロとピアノによるコンサート（25～30分）	3人	○ピアノ（年1回の調律をできればコンサート前に実施していただけるとありがたい） ○指導曲の楽譜は事前に送付をお願いしたい。	・ソプラノ+ピアノ（少年少女合唱団主宰）+弦楽器（チェロ） ・クラシックや日本の伝えていきたい曲、ミュージカル 他鑑賞曲などをソロ、デュオ、トリオの形で演奏。音を通して子どもたちとふれあいます。生の音楽を体感し、より音楽への興味をもってほしいとの思いで活動。
	パーカッションアン サンブルよか音	○所在地 〒807-0851 北九州市八幡西区永犬丸2-21-13 ○代表者 松本 眞弥 ○E-mail maaayan31@yahoo.co.jp ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数3～4人	「響け パーカッション」 【体験】「身体も楽器に、音楽でみんなと気持ちを共有しよう」 誰でも音が出せる打楽器を生かして、人前で自分を表現する勇気、個人の個性を認め合う事の大切さ、非言語コミュニケーションでのアンサンブルや通じ合える喜びを知り、会場が一体となる感動を体験する。 【公演】「打楽器を通して様々な音やリズムを知ろう」 日常生活の中で身の回りにある音も音楽を取り入れています。公演が終わった後でも「音」を感じ、感受性を高めて音楽に対する興味関心を持つ。異国のリズムや音楽に触れる。	例【体験 35分】以下の中から選択。 ①ボディパーカッション ②ドラムサークル ③マリンバ体験 ④器楽合奏 【休憩 10分】 【公演 35分】	3～4人	・搬入車2～3台を会場付近に駐車希望。 ・体育館や多目的ホール、広い部屋を使用希望。 ・学校備品打楽器や木琴等を学校側の可能な範囲で借用希望。 ・事前打ち合わせにて、学校の特色や学年に合わせたプログラムを立案します。 *対象年齢 小・中学生	【パーカッションアンサンブルよか音】 打楽器アンサンブル音楽鑑賞はもちろん、パネルシアター等を利用した視覚教材を取り入れ「みて・きいて・かんじる」ことを体験することにより身近に感じる公演を展開している。2022年黒崎ひびしんホール主催「第78回新きたきゅう音楽塾」を機に演奏を始める。
楽							

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
ダンス	シン・ダンシング・ブリーズ	○所在地 〒812-0038 福岡市博多区祇園4-6 平田ビル 202 ○代表者 異 慎之介 ○ホームページ http://www.shindb.com/ ○E-mail shin_breeze@yahoo.co.jp ※特別支援学校（要相談） ※児童養護施設（可） 派遣者数 2～4人	【1】 ダンス体験講座～身体を使って表現することを通して、心を開放しよう!! 【2】 ボールダンス（ボールスポーツ）体験講座～スポーツ競技としてのボールダンス（ボールスポーツ）に挑戦！身体を使って表現することを通して心を開放しよう!!	当方でご用意した課題曲の中からお選びいただき、1曲のダンスを練習。音楽に合わせて踊る楽しさを通して、身体を使った表現の喜びへと繋がります。1曲を仕上げることで、達成感を感じてもらえることでしょう。また、最後に発表しあうことで、人前で何かをする勇氣と自信を持ってもらえたら・・・と思っています。 【授業の流れ】 ①準備運動等（10分） ②振付け指導（60分） ③グループ別に発表（15分） ④整理運動と感想 【課題曲例】 「銀河鉄道999」「手のひらを太陽に」「やってみよう」他 スポーツ競技としての大会も開催されているボールダンス。ダンス用ボールを使って、クルット回ったり、ポーズを取ったりに挑戦します。その後、当方でご用意した課題曲で、ダンスとボールダンスを踊るように練習します。音楽に合わせて踊る楽しさを通して、身体を使った表現の喜びへと繋がります。1曲を仕上げることで、達成感を感じてもらえることでしょう。また、最後に発表しあうことで、人前で何かをする勇氣と自信を持ってもらえたら・・・と思っています。 【授業の流れ】 ①準備運動等（10分） ②ボールダンスの練習と課題曲の指導（60分） ③グループ別に発表（15分） ④整理運動と感想 【過去に行った課題曲 例】 小学生向け「MAMMA MIA!」中学生向け「Into the unknown」	2～4人 2～4人	○動きやすい服装で。 ○CDプレーヤーを準備。 ○半ズボンの体操着で受講してください。 ○CDプレーヤーを準備。 ○1回の指導人数は10数名まで。 それ以上の人数での体験をご希望の場合、時間帯を分けるか、日程を分けて、その人数での授業を計画してください。また、前日もしくは当日ダンス用ボールの搬入・搬出をお願いいたします。	・2001年設立。代表 異慎之介。 ・大野城まどかびあ主催 子どものための舞台創造プログラム“真夏の夜の夢” “銀河鉄道の夜”劇団ティンカーベル“金子みすゞの世界”“星の王子さま”NCB音楽祭“メリー・ウイダー”他ミュージカルやオペレッタ等の振付を手掛けました。 ・ふくおか県民文化祭 他を通して、幼稚園・小学校・中学校・子ども会 等でも振付指導。その後も 練習を続けて、運動会・学芸会 等で、披露されている方々も多いです。「スポコン広場」他ダンスコンクールにて、最優秀賞他の受賞を果たした学校多数。2020東京オリンピック・パラリンピックの共催事業では特別支援学校の生徒さんにボディパーカッションの振付指導をしました。 ・代表の異慎之介は、全日本ボールスポーツ選手権大会において2016～2019年、世界ボールスポーツ選手権大会において2016～2018年、優勝しています。 ・2018年には、NPO法人アートもん主催で九州で初めて、小学校でのボールダンス（ボールスポーツ）の授業を行いました。その時の模様は、新聞数紙とNHKのニュースで取り上げられました。
	福岡県ダンススポーツ連盟	○所在地 〒811-2405 糟屋郡篠栗町中央5-8-15 ○代表者 会長 塚本 徹 ○ホームページ http://www.jdsf.or.jp/fukuoka/ ○E-mail ueharamasa@nifty.com ※特別支援学校（要相談） ※児童養護施設（土日祝困難）	ダンススポーツ体験講座 ～ダンススポーツを通じて身体を使った自己表現と思いやりを学ぶ～ ＊ダンススポーツの種目社交ダンスをベースにスポーツ性を追及して発展した競技スポーツです。「スタンダード種目」①ワルツ②タンゴ③ヴィーンズワルツ④スローフォックスロット⑤クイックステップと「ラテン種目」①サンバ②チャチャ③ルンバ④パソドブレ⑤ジャイブがあります。	『ダンススポーツの体験』 ダンススポーツの10種目のうち1、2種目を選び、前半は基本ステップを一つずつ、ゆっくりと体験し、後半は音楽に合わせて楽しく踊る。最後は模範演技を鑑賞してもらう。 ・「理解力」：ステップ、体の構造、運動原理等を覚えようとすることで理解する能力を養える。 ・「表現力」：言語及び体各部で自分の思想や相手に伝えたい気持ちを表現する能力を養える。 ・「感性能力」：ダンスを学ぶことにより、芸術的な感性、自身の身体各部の働きを感覚的にとらえる能力が養える。 『武道とダンスが必修科目』 ・2012年から中学校の保健体育で必修科目となる。 ①相手を思いやる心を育てます。 ②生涯を通じて楽しむことができ、いつまでも若々しく長生きできると考えられています。 ③コミュニケーションを図る訓練になり、温かみある人間的な関わり方を学ぶことができます。	6～9人	○体育館を使用したい。 ○音響設備を利用したい。 ※適正人員 50名程度 ※対象年齢 小学生3年～6年 中学生	・1989年設立、会長 塚本徹 ・（公社）日本ダンススポーツ連盟の加盟団体で、ダンススポーツの指導、協議会の開催など普及に努めている。 ・（公財）福岡県スポーツ協会加盟団体 ・指導員資格、技術認定及び競技力向上の講習会を実施している。 ・競技会を春、秋に2回開催している。 （秋の大会は県ねりん大会と共催） ・「芸術体験講座」、「学校等芸術家派遣事業」の実績あり。

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
邦 楽 ・ 伝 統 芸 能	山崎北山（筭山）・宮本直美	○所在地 〒800-0227 北九州市小倉南区津田 新町2-14-16 ○代表者 山崎 筭山 ○ホームページ ○E-mail kohzan@kei.biglobe.ne.jp ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数2人	「邦楽」体験講座 ～箏・尺八を通して日 本の文化に親しむ～	『和楽器（箏・尺八）の鑑賞と体験』 ①楽器についての説明と鑑賞 （アニメソングなど親しみのある曲目） ②楽器体験 （全体を2グループに分け、全員が箏・尺八両方に触 れるようにする） ③鑑賞曲「春の海」 （体験後に鑑賞することで、聴き方が違ってくる） ④質問コーナー	2人	○イス3～4脚 ○ティッシュペーパー （尺八の歌口を拭くため） ※鑑賞曲目やリコーダーとの 合奏など可能な範囲で対応 できる。	・平成6年、箏の宮本直美、尺八の山崎 北山（筭山）が結成したデュオ。 ・幅広い年齢層の方々に和楽器の音色を 楽しんでもらえるよう、学校を含めさ まざまなライブスペースで活動。
	久留米連合文化会 日本舞踊	○所在地 〒830-0032 久留米市東町495-3 ○代表者 花柳 三枝君 ○E-mail（久留米連文） k-renbun@view.ocn.ne.jp ○E-mail（花柳三枝君） pt26ct@bma.biglobe.ne.jp ※特別支援学校（要相談） ※児童養護施設（可） 派遣者数3～5人	「日本舞踊」体験講座 ～日本のこころを子ど もたちに～	『日本舞踊を楽しく体験しよう』 ①正しい姿勢と挨拶の練習 ②日本舞踊の実演鑑賞 ③扇子の扱い方と扇子による見立て（扇子を使って 色々表現してみる） ④日本舞踊の稽古 男女に分かれ、女子は「さくらさくら」や「うさぎ」 等の女の子の踊りを、男子は「黒田節」や「うさぎ団 子」等の男の子の踊りを稽古します。 ⑤踊りの発表 *内容については、対象年齢や人数によって変更可 能です。 *国語・社会・音楽の授業の一環としての実施も可能 です。	3～6人	浴衣を持っている女子児童が 多い場合は、浴衣の準備を。 （持っていない児童の分は、 こちらで準備します。）体操 服でも可能ですが、できれ ば、浴衣を着た方が楽しめる と思います。 ・男子児童は体操服の準備を ・講座適正人数は、会場の準 備があれば、全校生徒でも 可能ですし、学年やクラス 単位でも可能。（少人数ほ ど実技の完成度はあがりま す。 ・対象年齢は、特にありませ んが、小学3、4年生や、 1、2年生がベスト。	・昭和24年設立、代表 花柳 三枝君 ・久留米連合文化会の一部門として、古 典を基本とする伝統芸能の指導に当た っている。 ・子ども達に、日本の良き伝統を伝え、 国際社会に恥じない日本人の心を伝え たいと「伝統子ども教室」などに参加、 活動している。
	和楽団ジャパン マーベラス	○所在地 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町6-12 ○代表者 西口 勝 ○ホームページ ○E-mail japanmarvelous@yahoo.co.jp ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数3～4人	日本の伝承芸能体験講座 ～和太鼓の歴史・音楽 としての和太鼓～	①和太鼓の歴史などについての話を聞き、太鼓の演奏 を聴く。 ②太鼓を演奏するのに必要な礼節を学ぶ。 ③太鼓に触れてみて体験する。 ④ふるさとに誇りをもつことを指導する	4～5人	※適正人数 100～200人	・2009年結成、団長 西口 勝 ・国内外での公演を展開。 ・和太鼓教室の開設や、小中高校でのス クールコンサートを実施している。

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
邦 楽 ・ 伝 統 芸 能	福岡大蔵会	○所在地 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-13-28-503つくしビル ○代表者 川邊 宏貴 ○E-mail hiroki015012@docomo.ne.jp ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（土日祝 困難） 派遣者数4人	「狂言」体験講座 ～狂言の公演と演目の 説明及び指導～	①狂言の歴史や演目の説明 ②狂言一番を演じる ③狂言の体験（発声、演技） ④質問	4人	○講堂や体育館を使用した い。（清掃） ○装束を広げたり畳んだりす る控えの部屋（畳又はシー トなど敷いてほしい） （出来れば姿見） ○移動用スリッパ ※適正人数 300人程度	・代表 篠原 太一 ・昭和36年以来、福岡県内の小中高校で 学校狂言を行い、古典芸能の普及に努 めている。
	福岡市能楽協議会	○所在地 〒810-0023 福岡市中央区警固 2-2-23-503 ○代表者 会長 鷹尾 維政 ○ホームページ ○E-mail ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数4～5人	「能楽」体験講座 （能・狂言全般）	『能楽体験講座』 ①舞台上で上ってみよう ②能の型、狂言の型を体験しよう ③謡を謡ってみよう ④能の楽器（笛、小鼓、大鼓、太鼓）を鳴らしてみよう ⑤質問コーナー	7人 以上	○マイク2、3本 ○ゴザ、じゅうたん等 （着物の着替えのため） ○姿見 ○解説・謡指導のコピー ※適正人数 100人程度 ※適正年齢 小5・6年以上	・（社）能楽協会会員にて平成8年に結 成。会長 鷹尾 維政 ・福岡県内における能楽普及、発展など を目的に、ふくおか市民能、市民狂言 その他ワークショップを住吉神社能楽 殿を中心に行っている。
	日舞未来有明	○所在地 〒837-0917 大牟田市草木149-5 ○代表者 高濱流雪妙（1才 女） ○ホームページ ○E-mail YUKItae.1527@ymobile.ne.jp ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数3～5人	「日本舞踊」体験講座 ～日本の文化に触れて みよう～	①正座・おじぎの仕方（きれいな立ち方、座り方） ②踊りの表現について「しぐさ」 （泣く、考える、思いつくなど） ③扇子を使った表現・扇子を正しく、綺麗に開く （花が咲く、散る、手紙を書く）など ④実演を見る（曲目は学校と相談） ⑤一緒に踊ってみよう（曲目は学校と相談）	3～5人	○足袋又はソックス （できれば白色） ※児童生徒が持っていれば、 ゆかた・帯 貸出もいたし ます。（無料） 学年に合わせた内容になり ます。 ※適正人数 10～50名程度 ※適正年齢 小3～中3	・平成20年、福岡を中心に各地で舞台活 動や指導に当たる舞踊家で結成。 代表 高濱流雪妙。 ・礼儀作法や思いやり、観察力などが自 然に身につくように指導している。 ・文化庁「本物の舞台体験事業」「伝統 文化子ども教室事業」などに参加。
	公益社団法人 日本舞踊協会 福岡県支部	○所在地 〒811-2417 糟屋郡篠栗町中央1-3-25 ○代表者 吾妻 清穂 ○ホームページ ○E-mail ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数5人	～日本舞踊を楽しく体 験してみよう！～	【プログラム1】 ①正しい姿勢と挨拶（きちんと正座をして挨拶をする） ②日本舞踊の実演鑑賞 ③扇子の扱い方と扇子で色々な表現をしてみる ④日本舞踊の稽古 男女に分かれ、女子は「さくらさくら」等の女の踊り を、男子は「黒田節」等の男の踊りを稽古する。 ⑤踊りを発表し合う * 踊りの曲等は年齢などに合わせて決めます。 * 国語・社会・音楽の授業の一環としての実施も可能 です。	3～6人	○着物（ゆかた）を着た方が 生徒さんの興味が増します ので、女子はできるだけゆ かたを着てほしいですが 、体操服でも可能です ○講座適正人数は、実演鑑賞 などに重きをおけば、全校 生徒でもできますし、学年 やクラス単位など人数に合 わせて、プログラムを構成 します ※踊りの曲等は 年齢など に合わせて決めます。	・（社）日本舞踊協会 会長 近藤 誠一 ・福岡県支部 昭和61年設立 代表 花柳 三枝君 伝統芸能である「日本舞踊」の普及を 通して、文化の発展に寄与することを 目的としている。会員は理事会の承認 を受けた流儀の名取、師範の資格者。 全国に24支部、福岡県支部の会員143名。

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
邦 楽 ・ 伝 統 芸 能	福岡県吟剣詩舞道 総連盟 聖舞流聖舞塾 葵 秀鳳	○所在地 〒812-0053 福岡市東区箱崎5-11-2-1012 ○代表者 葵 秀鳳 ○ホームページ ○E-mail ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数2人	『邦楽舞踊』体験講座 扇の扱い基本動作を学びながら詩心表現と舞の育成 ＜吟詠にあわせ舞う＞	【プログラム1】 『コミュニケーション能力育成のための基礎的体験』 ①扇を使っての礼と節から入り、扇の名称を覚え扱い方の練習をする。 ②身体を動かしながら基本的な所作を身につける。 ③扇と身体を融合させながら、楽しく表現して仲間と共感する。 【プログラム2】 『詩心表現能力育成のための舞踊体験』 ①上記の基礎体験の中から舞踊の楽しさを感じとらせる。 ②漢詩の詩文より詩心を想像し個々の感受性を高める。 ③詩舞としての手順等を皆で楽しく学びながら伝統芸能入門の第一歩とする。	3人	○扇子、着物（体操服で可）、足袋（靴下でも可） ※扇子がそろわない場合は、事前に申し出てください。 ○木曜日はさけてほしいことと、前日・当日等すべりを避けるためワックスはかけないでください。	・幼、少、青年、一般の一部・二部の分野にて全国剣詩舞コンクールに参加し、詩心を学び技術の向上を図りながら伝統芸能発展の基盤作りを目指している。 ・活動の原点は、個別及び地域の子供会や老人クラブ特に、子供達には礼と節を重んじ心豊かな感受性を持つ社会人へ成長してくれる一助でありたい。
	和楽ユニット風絃	○所在地 〒811-1344 福岡市南区三宅2-9-17 ○代表者 川村美重秀 ○ホームページ ○E-mail miehide.kawamura@gmail.com ※特別支援学校（要相談） ※児童養護施設（可） 派遣者数3～4人	「和楽器」体験講座 日本の固有の和楽器を聴いたり、体験をすることで、子どもたちに興味や向上心を持ってもらい、何事にも積極的に取り組んでほしい。	「和楽器教室」 日本古来の楽器である箏・三味線・三線・尺八・笛・太鼓の演奏を聴き、体験をすることにより仲間とのコミュニケーションや連帯感を持つことができる。 プログラム（A）演奏者4名（三味線・箏・笛・尺八・太鼓） 1 実演（黒田節、元禄花見踊 他） 2 楽器の歴史や素材の説明 3 実演（涙そうそう、津軽 他） 4 体験・演奏（子どもたち） 5 実演（よさこいソーラン節、世界に一つだけの花 他） プログラム（B）演奏者3名（三味線・笛・尺八・太鼓） 1 実演（黒田節、津軽7代節 他） 2 楽器の歴史や素材の説明 3 実演（津軽三味線、海の声、アメイジンググレイス 他） 4 体験・演奏（子どもたち） 5 実演（よさこいソーラン節、世界に一つだけの花 他）	プログラム（A） 4人 プログラム（B） 3人	○講座適正人数 50人程度 ○対象年齢 7歳から15歳 ○講座適正人数 30人程度 ○対象年齢 7歳から15歳	平成23年結成 代表 川村美重秀 ・プログラム（A）はパーティー、国際会議の余興、各種イベントで活動。 ・プログラム（B）はパーティー、老人ホームの慰問、敬老会、各種イベントで活動。

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
邦 楽 ・ 伝 統 芸 能	子どもに能楽を 勧める会	○所在地 〒807-0875 北九州市八幡西区浅川台 1-5-37 ○代表者 杉岡敏英 ○ホームページ ○E-mail ho-sho-8805@fuga. ocn.ne.jp ※特別支援学校（要相談） ※児童養護施設（要日程 調整）	能楽体験講座 （能楽出前講座） 能楽全般 ～「能」から学ぶ、 子どもの教育～	①「能」と「日常生活」との深い関わりのお話し ②演技してみよう！「能」の「型」体験 ③うたってみよう！「能」の「謡」体験 ④能の楽器のお話 ⑤着けてみよう「能面」体験 ⑥もういちどうたおう ○主講師：杉岡敏英 （宝・生流シテ方師範）	4人	○講堂や体育館を使用したい ○マイク1本（できればワイ ヤレス） ○長机5台（高い机） ○いす3台 ○DVD映写用スクリーン、プ ロジェクター等 ○資料のコピー ○できれば、講師用控え室 *適正年齢 小・中学校であれば特に問 いません *適正人数： 50人～200人程度 （上記に満たない、超えても 可）	・平成19年設立 ・福岡県アンビシャス運動参画団体とそと 平成20年から活動 ・遠賀郡、北九州市で「子ども能楽教室」 や「小学校への能楽出前講座（能楽体験 講座）」を展開中 ・平成24年1月：「鮎の里・水巻町ふれあ い能」を企画・実施 ・「子どもと留学生の能楽発表会」等実施 ・令和2年、3年10月「小倉譲能」を企画 ・運営 ・令和3年、4年8月「北九州市子ども文化 ふれあいフェスタ」（能の部）講師
	公益財団法人 日本吟剣詩舞 振興会公認 福岡県吟剣詩舞道 総連盟	○所在地 〒810-0033 福岡市中央区小笹5丁目 4-67-505 ○代表者 笠井 栄俊 ○ホームページ ○E-mail ※特別支援学校（可） ※児童養護施設（可） 派遣者数2人	「漢詩」吟詠講座 歴史上の人物が作った 漢詩を読み解き、声に出 して表現することで、歴 史に対する興味・関心を 高める。	プログラム1 1. クイズ、どんな人物が漢詩で伝言を残しているのか考 えよう 2. 漢詩の中の漢字から、伝言の内容を読みとろう。 3. なぜ、そんな伝言を残したのか考えよう。 プログラム2＜体験＞ 自分が読みとった内容を声に出して表現しよう。 1. 声を出してみよう。（腹式呼吸） 2. みんなで声を出し、心を表現しよう。	2～3人	○大きな声を出しますので 「音楽室」など他の迷惑に ならない部屋をご準備願 います。 ○ホワイトボード（又は黒 板）及びスタンドマイク1 本をご準備願います。 ○服装は学校での普段の服装 で結構です。	・昭和52年設立 ・理事長 笠井 栄俊 ・県下各地区に教場を有し日々吟詠や剣詩 舞の修練に努め、技能向上のために毎年 コンクールを実施している

ふくおか県芸術文化祭2025「学校等芸術家派遣事業」実施プログラム一覧（小・中・特別支援学校、児童養護施設用）

	団体名等	所在地等	プログラムのテーマ	プログラム	派遣者数	学校等への要望等	団体等のプロフィール
総合芸術	Office トウルース	○所在地 〒811-3125 古賀市谷山348-1	『マジック体験講座』 技術編 ・身近にある物を使ったマジックを覚えて近くの人を笑顔にしよう。 ・人前で演じる楽しさを伝える。 ・表現力と思考力を高める	『マジック教室』 ・マジックの原理、技術、表現力を学びアイデア次第で不思議で楽しいマジックを体験し人を笑顔にする力を身につける。実際に演じることで自信を持つことができる。 ①テバッタ・ミニマジックショー ②マジック教室 お手本 演技 ③マジックの種明かし（指導～練習） ④子どもたちのマジック発表（希望者のみ） ⑤質疑応答・感想	2人	『マジック教室』 長テーブル1台 用意するもの ポケットティッシュ各自1つ その他の材料は、こちらで用意いたします。 100V電源コンセントを1口使用します。 *適正人数 40人（最大 60人） 適正年齢 小1～小6年	・平成8年設立 ・平成2年から本格的にマジックを始め、海外のマジック大会に参加し研究を重ね現在までの出演回数は4,686回以上となる。平成16年から『笑顔の喜術師☆テバッタ』として、心が豊かなユーモア力を育てるために幼稚園・保育園・小学校・児童クラブを中心に子どもたちに笑いと不思議を届けています。 ・温かい家庭づくりのお手伝いを信条に活動中。
		○代表者 石堂 隆之 ○ホームページ http://www.tebbata.com ○E-mail ishido@krb.biglobe.ne.jp ※特別支援学校（要相談）	『マジックの裏側』 理論編 ・手品の裏側（技術やトリック）を知ることによって社会の裏側が見えてくる。 ・情報に流されず自分の頭で考える思考力・判断力・断行力を育てる。	『魔法の授業』 ・マジックの技法・錯覚・思い込み（心理学）を優しく伝えることで、物事を見る視点が変わり視野が広がり自由な発想力につながる。先入観・固定観念を疑うことで情報トリックに騙されない力を育てる。 ①マジカルパフォーマンス ②手品の裏側解説（江戸時代の手妻・中世ヨーロッパの歴史） ③情報トリックの嘘・ホント！？ ④人を笑顔にする魔法 ⑤質疑応答・感想		『魔法の授業』 長テーブル1台 電源ドラム1つ（音響用） *対象学年（低学年・中学年・高学年） マジックの解説が理解できるように学年によって内容が変わります。 *適正人数50人～80人程度	